

令和4年3月31日

登録番号13-012

氏名小野千佐子

登録番号16-009

氏名下山陽介

登録番号 20-001

氏名 松下 祥貴

大阪市地域公共人材活動報告書

記

1. 派遣日時 令和4年3月22日（火）19：30～21：50

（第4回派遣）

2. 派遣場所 リノべる株式会社コーワーキングスペース

3. 参加人数11名（内訳：依頼団体7名、公共人材3名、大阪市市民局1名）

4. 活動内容

(1)派遣内容

靱公園で開催している地域住民の交流イベント（えほんpicnic）では平成30年に地域公共人材の協力によりイベント10周年に向けた中期目標を策定した。その後3年が経過し、メンバーは入れ替わり、10周年のイベントをやり終えることができたため、改めて中期目標の策定を支援していただきたい。メンバーと共にえほんpicnicが目指すべき方向性を考えることで、認識を共有し、モチベーションにつなげていきたい。

(2)支援内容

これまでの総まとめとして中期（3年後）目標の言語化、およびそのキャッチフレーズ化に取り組んだ。これまでに出された意見や考えを振り返りつつ、各メンバーが考える3年後に目指す姿、3年間で取り組みたい事を付箋に書き出し発表しながら机に貼り出していくことでディスカッションの可視化を図った。また、一定程度発表が集まった段階からは適宜カテゴライズを施し、議論の収束を支援した。

結果として、今回の支援では中期目標の明確な決定には至らなかったものの、あと一步の状態まで議論を進めることができた。これまでの過程で考え方の共有や合意形成が十分になされたと感じられること、また、団体側の期限上のご都合もあり、以上を

成果として本支援を終了することとした。

所感

本支援において初の対面開催が可能となり、顔の見えるディスカッションが意思疎通や議論の可視化に大きく寄与したと感じる。正解のないものを自発的に生み出す難しさがある中で、団体メンバーの皆さんが積極的に取り組む姿勢が印象的であった。

一方で、当初予定の目的を消化し切れなかった点は、今回進行を担当した私自身の力不足を大きく感じるところである。後一押しの状態までは進めているため、最終的な中期目標は団体の広報をもって確認し、見守っていきたい。

所感

オンラインと対面との大きな違いを感じた。団体メンバーの発言にオンラインの時よりも重みがあり、互いに考えている様子を感じられることでさらに深く考えるきっかけになっていたと思う。前回を対面で実施できていたら、派遣依頼の中期目標の言語化までできたのではないかと思いつつも、まとめきれなかつたことへの反省がある。

団体の方が発言を意識して控えてくれていたことで、団体への参加歴に関係なくメンバーが自由に考えを発言できたことは、大きな成果で、このプロセスが今後の活動に役立つのではないかと思う。個人的にも、この活動には関心があるため、今後も注目していきたい。

所感

参加者お1人お1人が非常に意欲的に取り組まれており、団体としての姿勢を垣間見ることが出来た。

当初予定の目的を消化し切れなかった点は、私の力不足を反省している。目的達成までもう少しの状態までは進めているため、最終的な中期目標は団体の広報をもって確認し、見守っていきたい。